

大阪・関西万博 「週報」のお届け

日頃、お世話になっております。

大阪・関西万博については、いろいろな報道やご指摘をいただいております。

なるべく客観的な事実関係を中心に別添の通りまとめ、週一回を目処に定期的にお届けしております。合わせて、準備活動の現状や今後の予定なども簡潔に記載させていただいております。

お時間ありましたら、より詳細なご説明に伺いたいと存じます。

経済産業省 首席国際博覧会統括調整官 茂木 正

(お問い合わせ先) 経済産業省 博覧会推進室 担当： 参事官 奥田 修司
総括補佐 阿部 尚行

直通： 03-3501-0289

今週のピックアップ!

藤原紀香さんが日本政府館の名誉館長に就任

- 3/5(水)、経済産業省は、日本政府館の名誉館長に藤原紀香さんが就任したことを発表。同日に執り行われた就任式では、武藤経済産業大臣から任命状を手交。会期中、名誉館長は、国内外から訪れる賓客の接遇を行うなど、日本政府館の魅力を広く発信する。

<藤原紀香さんのコメント>

“この度、日本館名誉館長に就任した藤原紀香です。

20 年ぶりに日本で開催される国際博覧会が、大阪・関西万博ということで、関西出身の私としては、この任を仰せつかり大変光栄です。地元関西、そして日本のため、職責を果たして参りたいと思います。日本館では、「いのちと、いのちの、あいだに」をテーマに、循環型社会の実現に向けた発見を提供することを目指していると承知しております。主催国である日本政府のパビリオンとして、世界中から多くのお客様をお迎えすることになるとも伺っています。

日本館名誉館長として、1 人でも多くの方にいらしていただけるよう日本館の魅力を発信していきたいと思います。”

藤原紀香さんプロフィール

兵庫県出身。92'ミス日本グランプリを受賞。大学卒業後、モデルを経て俳優へ。これまで数多くのドラマや映画、舞台で主演、音楽番組の司会やキャスター、声優、歌などで活躍の場を広げる。

芸能活動のみならず、日本赤十字広報特使就任するなど社会貢献事業にも積極的に取り組む。現在は NPO 「Smile please 世界子ども基金」を主宰し、アフガニスタンやカンボジア、ネパールに学校を建設するなど国内外の子どもたちへの教育支援事業を 20 年以上継続している。



出典: <https://www.meti.go.jp/press/2024/03/20250305003/20250305003.html>

<https://2025-japan-pavilion.go.jp/news/250306/>

1. 海外パビリオン探訪

※ それぞれ個性溢れる魅力的な海外パビリオンについて、経済産業省の担当者が毎週順不同で取り上げて紹介していくコーナーです。

① アゼルバイジャン



(画像出典: 博覧会協会ホームページ)

- 7つの大きなアーチが特徴的なパビリオン。アーチ下にある「7つの美」の像が来館者を迎え入れる。パビリオン内には、全方向投影型の映像ショー、アゼルバイジャンの文化・芸術・自然に関する展示、日本とアゼルバイジャンの庭園を融合させたレストランなどがある。
- ナショナルデーは 6/5(木)。

② クウェート



(画像出典: 博覧会協会ホームページ)

- 大きく広がった翼を模した建築。ギャラリー、庭園、中庭、そして5つのテーマ別体験ルームで構成されており、歴史や個人のストーリーを通して見えるクウェートの過去、現在、未来を、没入型展示で紹介する。パビリオン内のレストランではクウェートの伝統料理を味わうこともできる。
- ナショナルデーは 6/19(木)。

③ ドイツ



(画像出典: 博覧会協会ホームページ)

- 再利用可能な建築資材を使ったサークル状の木造パビリオン。それ自体が循環型・持続可能な建築の出展作品となっている。パビリオン内では、五感を刺激する没入型展示で循環型社会の暮らしなどを体験できる。ドイツ料理や日本食とのコラボメニューが楽しめるレストラン“Oishii! Germany”、ドイツならではのお土産品を取りそろえたショップ「Omiyage! Germany」が併設される。
- ナショナルデーは 6/20(金)。

④ 国際連合



(画像出典: 博覧会協会ホームページ)

- 35 の国連諸機関が一丸となって参加する。パビリオン内では、国連の創設以来 80 年の歴史、世界的な課題や人道危機への対処に向けた取り組みなどを展示。また、万博期間中は、国連職員、専門家、著名人、サポーターなどのゲストをパビリオンに迎え、グローバルな課題と解決策についての知見や経験を発信する。
- スペシャルデーは 8/22(金)。

2. イベント情報(開催日時:6/1～6/7)

今週に「2ヶ月前予約抽選」の受付が開始されたイベント(その旨を※で注記)中心に、開幕第7週(6/1(日)～7(土))に会場内で予定される主なイベントを紹介します。

□伝統文化未来共創プロジェクト～次世代と世界の架け橋～ ※2ヶ月前抽選対象

- 開催日:6/3-4
- 場所:EXPO ホール「シャインハット」
- 伝統文化の演舞・実演・トークショーなどを予定。



□ORA 外食パビリオン「宴～UTAGE～」パビリオンデー 日本食 Wonder Trip ～世界に誇る日本食魅力発見の旅～ ※2ヶ月前抽選対象

- 開催日:6/7
- 場所: EXPO ホール「シャインハット」
- 万博という世界中からさまざまな人を迎えるこの機会に「日本食の魅力」を再認識していただくことで、次世代へとつなぎ、世界へと発信したくなる、素晴らしい日本食の魅力をお届けします。



□パナソニックグループパビリオン「いのち、ありがとう」

- 開催日:6/1
- 場所: EXPO ホール「シャインハット」
- 詳細は今後発表。



□ロハスフェスタ EXPO 2025

- 開催日:6/2-4
- 場所: EXPO アリーナ「Matsuri」
- 端材を材料としたアップサイクルな手作り作品やフェアトレード商品、ヘルシー志向の食品など、ロハスフェスタの人気店が登場。SDGs を楽しく学べるワークショップなど、サステナブルなライフスタイルを体感できる参加型イベント。



(c) LOHAS Festa

□ ベーカリー・エキスポ・ジャパン

- 開催日: 6/4-5
- 場所: EXPO メッセ「WASSE」
- 国内外のトップブーランジェが万博会場に集結し、デモンストレーションやパン作り体験など、世界のパン文化の違いやパンの可能性・未来が体験できるイベント。



□ 千の自然・千の時間—私たちと世界自然遺産5地域

- 開催日: 6/5
- 場所: EXPO ホール「シャインハット」
- 世界自然遺産に登録された日本の5つの地域の大型自然映像の上映やそれにちなむ著名人トーク、芸能パフォーマンス、郷土芸能等を披露するとともに、世界の有識者が日本の自然について語る国際シンポジウムを開催。



□ 大伴家持ゆかりの地域連携 元号の典拠「梅花の宴」を今に「令和の万葉フェスティバル」

- 開催日: 6/6
- 場所: EXPO アリーナ「Matsuri」
- 詳細は今後発表。

□ 白と黒の伝統 書と囲碁の世界 The Legend of Black & White

- 開催日: 6/6-8
- 場所: EXPO メッセ「WASSE」
- 白と黒のシンプルな色づかいを貴重とする書と囲碁という伝統文化のコラボイベント。高校生から大家まで幅広い年齢層の書家が紙と墨による書道パフォーマンスを披露。囲碁の実践観覧や解説、ワークショップも実施。



©毎日新聞社

□ BiG-i Art Project ～共通感覚を拡げて～

- 開催日: 6/1-4
- 場所: ギャラリー WEST
- BiG-i × Bunkamura アートプロジェクト公募事業で集まった作品から国内外の 81 作品及び全国の福祉事業所や障害者施設等から生まれた作品を作品に関わる人たちの日々の生活の様子とともに展示。



□ MIKROCK EXTRA in EXPO 2025 大阪・関西万博

- 開催日: 6/1
- 場所: ポップアップステージ 東内
- 多くの有名ミュージシャンが飛び立っていった「三国ヶ丘FUZZ」がお送りする、注目ミュージシャンのアカースティックライブ。



□ ニューロダイバーシティに寛容でキラキラ輝く社会に 感性を刺激し一歩踏み出そう

- 開催日: 6/1
- 場所: ポップアップステージ 西
- ニューロダイバーシティに寛容で日本伝統芸やアニメ文化に触れることで眠っている感性を刺激し一歩踏み出だし皆が輝く人生を歩める願をこめたパフォーマンス。



□ 静岡県出展ブース『GEO KITCHEN SHIZUOKA』

- 開催日: 6/6-8
- 場所: ギャラリー WEST
- 豊かな風土に育まれた静岡の食のポテンシャルをアピール

□ RELAY THE FOOD～未来につなぐ食と風土～

- 開催日: 6/7-8
- 場所: ポップアップステージ 西
- 食文化等に触れていただけるようなイベントを検討中。



3. 関連する主な活動／発表

- 3/10(月)、ジェトロの石黒理事長は記者会見を行い、大阪・関西万博に関連した海外ビジネス促進に向けたこれまでの取組について発表。万博期間中には海外要人の来日に合わせたビジネスセミナーの開催を予定。現時点で 43 カ国・地域から 61 件の協力要請が接到。また、3/13(木)から新設する万博関連ビジネス情報のポータルサイトについても説明。

Ⅱ. 具体的な取り組み

1 | 参加国・地域と連携した要人セミナー等の開催

- 海外要人の訪日に合わせ、各国政府機関等とともに、ビジネスセミナーを東京、大阪等で開催します。なお、現時点で43カ国・地域から61件の協力要請が寄せられています。



出典：<https://www.jetro.go.jp/news/releases/2025/7d1882d9398d5bbd.html>

- 3/3(月)、造幣局は万博記念貨幣（第三次発行分）の打初め式を大阪造幣局にて開催。関西経済連合会の松本正義会長、華道家元池坊の池坊専好次期家元、藤本壮介プロデューサー等が出席し、万博への思いや見どころを語った。

記念貨幣販売要領：

造幣局：2025年日本国際博覧会記念貨幣（第三次発行）の通信販売について（2025年3月5日）

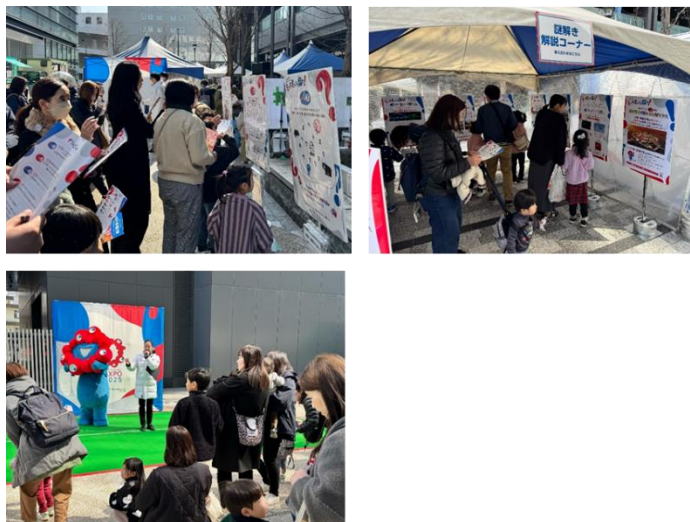


左から辻財務省理財局次長、後藤造幣局理事長
小野博覧会協会副事務総長、北尾国際博覧会推進本部事務局次長
松本関西経済連合会会長、湊川親方、
池坊博覧会協会副会長、藤本プロデューサー



【写真提供】内閣官房国際博覧会推進本部事務局

- 3/8(土)～3/9(日)、内閣官房(国際博覧会推進本部事務局)は、広島県広島市にて、こども向け機運醸成イベント(「万博謎解きゲーム～ミyakumyakを探せ!～」)を開催。参加者は謎解きゲームを楽しみながら万博について学習。また、ミyakumyakの写真のSNS 投稿キャンペーンを実施するとともに、開催前日には広島テレビの番組(「テレビ派」「知っとる」)で告知。



上段2枚:万博謎解きゲームの様子 下段1枚:ステージでミyakumyakグリーティングを実施
【写真提供】内閣官房国際博覧会推進本部事務局

4. 今週以降の主な予定

- 3/15(土)～3/16(日)、大阪・関西万博の“見どころや楽しみ方”がまるわかり!『想像以上!を、体験だ!まわる! EXPO PLAYPARK』を開催! @イオンモール浜松志都呂 1F「セントラルコート」

出典:<https://www.expo2025.or.jp/news/news-20250307-05/>



- EXPO スクールキャラバンの当面の実施スケジュール等

日時	学校名(授業実施者)
2025/3/11(火)	東福岡高等学校(TOPPAN)@福岡県
2025/3/12(水)	宇部市立楠中学校(コカ・コーラ)@山口県
	白浜町立北富田小学校(川重)@和歌山県
2025/3/13(木)	洛南高等学校附属中学校(長谷工)@京都府

*メディア受け入れ可能な学校のみ抜粋

5. 今週の 60 秒解説

□ 3/4(火) 毎日がスペクタクルショーだ！ (このイベントがすごい①)

- ・黄昏時には、世界中から「願い」が集う One World, One Planet.
- ・水と空気のスペクタクルショー

<https://journal.meti.go.jp/p/37950/>



□ 3/5(水) 何だよ、万博会場ってエンタメ・ワンダーランドじゃんか！

- ・モンハンの世界を 360° 大音響と振動で没入空間へ
- ・ガンダム三昧、万博、いきまーす
- ・マクロス監督が描く「いのちの合体・変形」
- ・アニメ聖地巡礼、パリ JAPAN EXPO の里帰り、日本のキャラクターがあちこちで大競演

<https://journal.meti.go.jp/p/38006/>



□ 3/6(木) 決してあなどれない！ 万博限定サウナが「超未来型」だった件について (このイベントがすごい②)

- ・万博会場で「ととのう」？
- ・世界に類を見ない「未来のサウナ」で自然と一体化しよう！
- ・日本が創っていく、サウナの「新時代」

<https://journal.meti.go.jp/p/38032/>



□ 3/7(金) 万博を支える地域企業をご紹介！ ～近畿局発：日本の「弁当」を世界の「BENTO」に～

- ・日本初の「幕の内駅弁」のパイオニア
- ・さらに多くのお客様に届けるために
- ・新商品開発と技術・生産能力の向上
- ・大阪・関西万博にかける強い想い

<https://journal.meti.go.jp/p/38016/>



□ 3/3(月) ミyakumyakは、今日もお仕事中

- ・「ミyakumyak」を復習しよう
- ・都心でも激務に励む、今日この頃
- ・ミyakumyakとは会場でも会えるかも！？

<https://journal.meti.go.jp/p/38132/>



<公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会のホームページはこちら>

<https://www.expo2025.or.jp/>



<週報のバックナンバー(過去発行分)はこちら>

<https://www.meti.go.jp/policy/exhibition/shuho.html>



6. 報道等での主要な指摘事項と事実関係

(1) ウォータープラザ及びつながりの海の護岸浸食について

指摘事項

- 博覧会協会の発表によれば、ウォータープラザの護岸の盛土が注水により浸食されたとのことだが、大屋根リングの構造や開幕に影響はないのか。

【事実関係】

- 大阪・関西万博会場の南東部分に位置するウォータープラザの護岸で、盛土の一部が浸食されていることについては事実。
- 博覧会協会からは、「ウォータープラザ」、「つながりの海」に注水したところ、風の影響により水面の高さが想定以上に高くなったこと、先行して「ウォータープラザ」に注水を開始したところ「つながりの海」との水位差により水の流れの発生したことが、浸食の原因との報告を受けている。
- なお、大屋根リングそのものは地下約60m付近地点の支持層で支えられているため、安全上の支障は無いと聞いており、現在、博覧会協会において、開幕に影響がないよう対応策の検討を進めている。

参考：<https://www.expo2025.or.jp/news/news-20250310-07/>

